優秀賞

ファッションエコ意識向上PRJ「余り布（ザンプ）は、未来の主役」

（受賞者）文化学園大学 USR推進室 社会環境対応グループ

活動概要







【概要と目的・頻度】
ファッション教育機関の責任として、服作りで発生する残布問題への意識向上と環境教育を目的に始まった取り組みです。年1～2回の残布分別や年1回のエコプロ展出展などを通じ、学生に「作る＝残布が出る」現状を認識させ、将来の持続可能な業界づくりを目指しています。

【主な取り組みと特色】
年間約300kg回収する残布は、近畿大学との共同研究で燃料「エシカルザンプ®」へ転換してゼロエミッションを達成。学内の小型反毛機で再素材化し作品や教材に活用しています。SDGs採択前から約20年続く先駆的な取り組みであり、三井不動産をはじめ企業や地域と連携した実務的でオープンな環境教育が特色です。

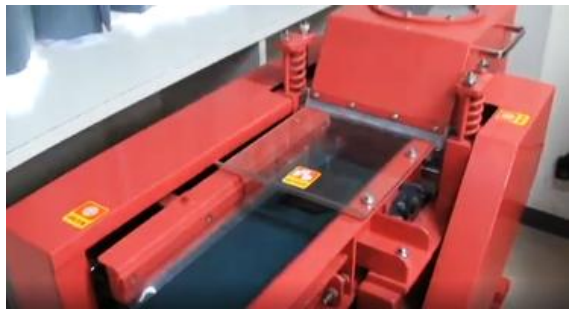
【教育的・社会的効果】
「ワークショップ時に布を極力切らない」など学生の環境意識が着実に向上しています。企業との協業や卒業生を通じた連携も広がっており、高い社会実装教育の効果を上げています。

優秀賞

ファッションエコ意識向上PRJ「余り布（ザンプ）は、未来の主役」

（受賞者）文化学園大学 USR推進室 社会環境対応グループ

ストーリーと今後の展望







【活動を始めたきっかけ】

ファッションを教育の主軸に置いている教育機関の責任として、作る際に出る端材、残布に目を向けなくてはいけないということで始まりました。初めはゼミ活動の1つでしたが、大学の社会的活動の責任に応える活動の拠点であるUSR推進室が学内に設置された2010年から本格的に始動しました。

【受賞について・今後の展望】

この度は優秀賞をいただき、大変光栄に思います。およそ15年間、服作りの残布活用やリサイクルに取り組んできたことが評価され、深く感謝申し上げます。 今後は、渋谷という立地を生かした地域・企業との連携をさらに強めるとともに、持続可能なファッションの未来に向け、循環型社会の実現と地域社会に貢献する教育をこれからも発信してまいります。

<参考（URL、連絡先、関連資料など）>

文化学園大学服装学部ファッション社会学科×KISARAZU CONCEPT STOREワークショップ
https://kisarazu-concept-store.com/events/bunka-workshop-2507//